



岩手

傘立てやポストなど
ユニークなインテリア製品の数々
伝統技術を用いた新たな
「ものづくり」への挑戦

及精铸造所



及精铸造所 本社

「常に『ものづくり』に挑戦すること」をモットーにしている及精铸造所(岩手県奥州市水沢区羽田町明正、及川敬社長、0197・24・7263、<http://www.oisei.jp/>)は、東北新幹線水沢江刺

駅から徒歩10分、48名の従業員(平均年齢38歳)で、トラクターや自動車部品などの産業機械部品を鋳物で生産する傍ら、南部鉄器の鉄瓶や家庭用ポストなどユニークなインテリア製品も製造している。この地域の鋳造業は、

平安時代末期に藤原清衡が、近江の国(現滋賀県)から鋳物師を招き、西方寺田、松ノ木において鋳造したのがはじまりと言われており、平泉文化の先駆けとなっている。

同社は、1モールド12秒の高速ラインと30秒の2ライ



人気のある家庭用ポスト



ンを有しており、大手の印刷メーカーやトラクターメーカーからの受注に対応しているほか、手作りで家庭用の新聞受け(ポスト)や南部鉄器の鉄瓶などを生産し、東南アジア諸国へも輸出している。同社はこれまでも、お客様の要望に合わせて数多くのオリジナル製品を製作しており、その多くがヒット商品となっている。その一例をあげると、東急ハンズなどでも販売している「ミミズクのポスト」や「カエルのポスト」があり(受注生産のため納期は1カ月程度)、最近では、家具販売店や設計施工会社からの依頼も増えている(商品の詳しい内容は同社ホームページを参照)。

同社は、昨年新工場を建設し、今年からは、「3Dプリンター」を導入し南部鉄器のデザインや機械鋳物の試作品を短納期で製造・納入するよう取組んでおり、今後も、同社のものづくりへの挑戦から目が離せない。